

日之出グループ

創業90周年盛大に祝う



記念式典・祝賀会会場

廣口之出塗装工業会長が開会にあたり、草刈健太郎社長の歩みを説明（別項）。

小井社長は「私は90周年という長い歴史の中で23年間お世話になった。その間だけでも数多くの人との出会いがあった。私は資材管理から始まり、その後施工管理の仕事を担当した。現場については工期がない厳しい条件のこところもあったが、多くの人たちに助けられ支えられ、今まで来れたことを感謝している。当社はこれから100年、110年企業へと成長するため、建設業界の数多い課題に取り組まなければならない。特に職人の扱い手不足対策に力を入れ、若手職人



小井洋社長



草刈健太郎社長

日之出塗装工業（大阪府岸和田市、小井洋社長）は今年創業90周年を迎へ、グループ会社のカンサイ建装工業（大阪市淀川区、草刈健太郎社長）、オープンブックマネジメント（同）とともに9月21日午後、大阪・北区のリーガロイヤルホテルで、記念式典・祝賀会を盛大に開いた。

私が初代草刈博から経営を引き継いだのは昭和40年だった。40年の年間売上は1千万円だったが、平成7年には15億円になり、実に150倍となつた。ところがバブルの崩壊で落ち込み、大きな借金だけが残つた。



草刈保廣会長

社会の役に立つ会社に

してきました。世の中に役に立つことが仕事にもつながり、大きな輪ができるつある。

表彰、草刈会長へのお孫さんからの花束贈呈などを行つた。

盛会のうちに、草刈健太郎社長は「本日、東は宮城県・石巻、南は沖縄、宮古島からたくさんのお客様がお越しいただいた。

日立グループ創業九十周年記念式典



草刈会長夫妻へ花束贈呈

得て、今日のグループの売上高は65～70億円に成長した。

きる会社にまで成長していただき、新築が実現した。かつて目指していた総合仕上業への業態転換も実現した。

今後も日々の出グループは、より皆様の役に立つ会社として努力する所存であり、一層のご愛顧、ご支援を賜りたい。

バブル崩壊後に経営を継いだ当時は厳しい環境にあつたが、なんとか今では売り上げも10倍になり、実質無借金経営で日々の出グループが前に進んでいる。これも本口が臨席された皆様のお陰であります。心より感謝申し上げたい」と締めくくった。